

概要

OnBase ワークフロー11.0は、企業の業務を迅速で効果的に行うトランザクションコンテンツ管理および電子文書ルーティングシステムです。ポイントアンドクリックで設定可能な豊富なルールとアクションが用意され、カスタムプログラミング無しで構築できるため、短期間で業務プロセスを自動化できます。また、ワークフローはシンプルで柔軟なインターフェースで実行でき、文書処理時間の短縮、従業員の生産性の向上、データの入力・ストレージ管理・検索精度の改善を可能にします。

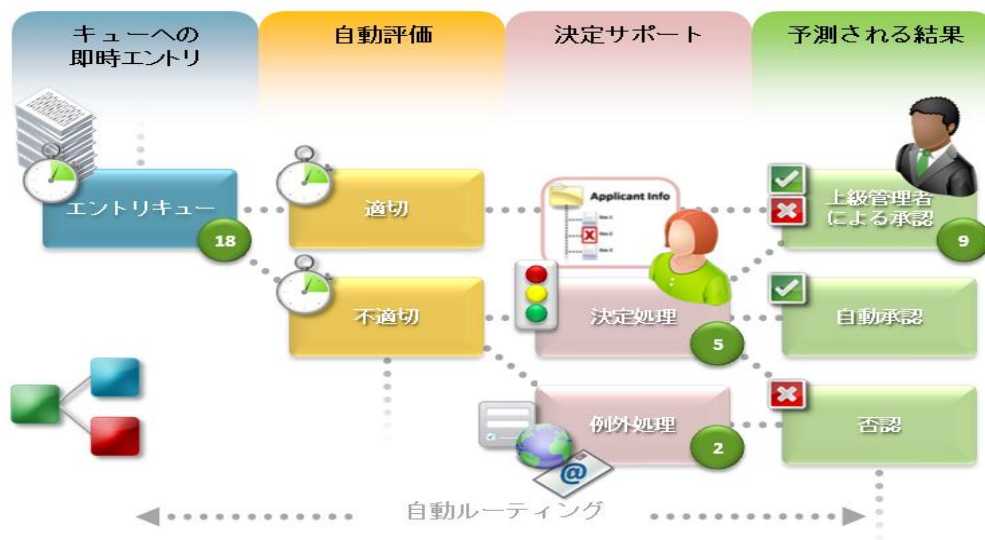
主なメリット

- すべての関連ドキュメントを同時にユーザーに表示し、ビジネストランザクション処理を促進
- 電子文書を効率よく閲覧させるルールフレームワークを提供し、ビジネスプロセスを最適化
- セキュリティや従業員のパフォーマンスをモニタする詳細な監査履歴を提供し、説明責任を促進
- 複数のインターフェースを利用でき、業務アプリケーションと統合可能な柔軟な展開とアクセスを提供
- ビジネスプラクティスを実現して一律でない業務処理方法によるリスクを低減

アプリケーションの利用価値

- コストの削減：プロセスの自動化により、従業員は必要な文書やデータの確認などの単純作業に時間を費やさずに、価値の高い業務に集中できます。
- コンプライアンスの支援：プロセスを綿密に定義することで、セキュリティ管理や詳細な監査証跡を可能にします。（例、購買の承認プロセスを厳格にルール化し、作業履歴などがログに記録されるなど。）
- 収益の増加およびお客様サービスの向上：OnBase ワークフローは業務を効率化し、手動のプロセスに対し生産性を大幅に改善します。また、より迅速により高品質の対応を行うことが可能となり、お客様とのより良い関係を築きます。

デザイン



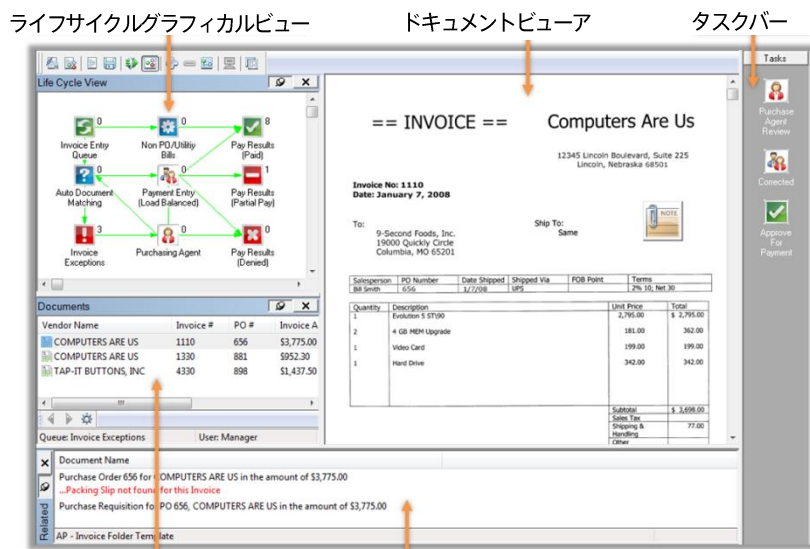
OnBase ワークフローソリューションは、設定可能なライフサイクルで構成されています。ライフサイクルは、ユーザーが手動で実行、またはシステムワークとして自動で実行されるルールおよびアクションを含むキューで構成されています。ワークフローには、ほとんどのドキュメントタイプとファイルフォーマットが使用でき、関連文書やデータを伴う文書閲覧を事前に定義することで、プロセスの一貫性が保証されます。また、ワークフローライフサイクルは、リアルタイムで文書やプロセスのステータスを表示するだけでなく、履歴データの表示やデータを使用したレポート作成が可能です。

主な特徴

- 220以上に及ぶルールやアクションが標準機能として含まれているため、ライフサイクルを容易に設定可能
- カスタマイズが可能で役割単位でフィルタできる柔軟で設定可能なワークフローインターフェースを提供
- ユーザーに担当業務が割り当てられると、Eメールで自動通知
- 設定可能なタイマーにより、タスクの自動化やユーザーの介入を必要としない文書処理を提供
- 役割別のカレンダーやロードバランスを使用し、対応可能なユーザーが文書を最も効率良く処理可能

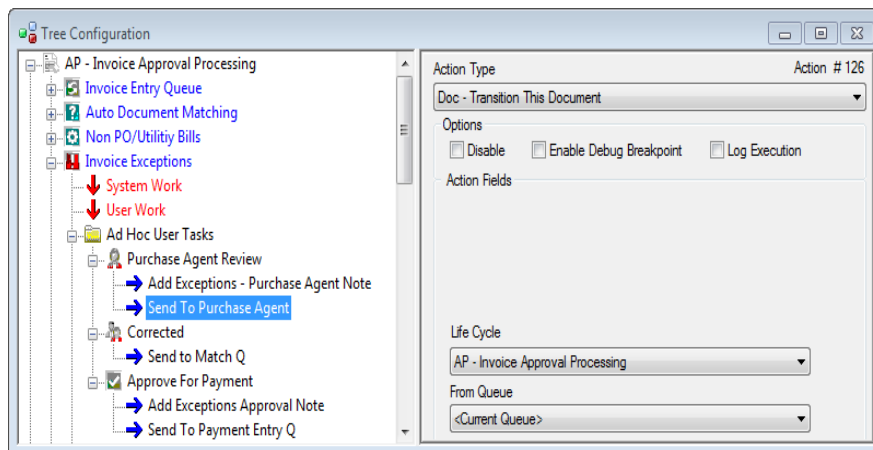
インターフェース

OnBaseクライアント（コアベース下記参照）、Unityクライアント、デスクトップ、Webクライアントなど複数あるインターフェースのいずれを使用しても、OnBaseワークフローソリューションは同一のユーザー体験を提供します。



ドキュメント受信トレイ 関連文書や不足文書が表示されるワークフローフォルダ

プログラムレスのポイントアンドクリック設定による幅広いルールやアクションが標準機能として備わっているため、迅速にワークフロープロセスを展開できます。1度定義を設定すると、ルールやタスクは別のライフサイクルやキューのどこにでも使用することができます。



HYLAND
SOFTWARE

28500 Clemens Road • Westlake, Ohio 44145 • p.440.788.5000 • f.440.788.5100 • www.hyland.com

©Hyland Software, Inc. All rights reserved. Trademarks are the properties of their respective owners.